

# 『「WE LOVE とよた」の振り返りと今後の方向性（案）』 パブリックコメントの実施結果

## 1 概要

### (1) 実施期間

令和7年10月1日（水）～31日（金）

※Eモニターは9月21日（日）～30日（火）

### (2) 寄せられた意見の内訳

提出数 **79通**（うちEモニター64通）

意見数 **142件** ※1人の意見に複数項目含まれる場合は分けて整理

分 類		件数
1 条例	(1) 条例の継承	26件
	(2) 条例全般	11件
2 言葉・ロゴマーク	(1) 言葉	4件
	(2) ロゴマーク	11件
	(3) 言葉等の広がり・波及	7件
3 認知・PR	(1) 意味の認知・理解	16件
	(2) 広報・PR手法	16件
4 今後の取組	(1) 市民等の巻き込み	8件
	(2) 地産地消・消費喚起	4件
	(3) キャンペーン	4件
	(4) 個別分野の取組	17件
5 その他の意見・感想		18件
合 計		<b>142件</b>

## 2 寄せられた意見に対する豊田市の考え方

- ・次ページ以降に、いただいた意見（「その他の意見・感想」を除く。）と市の考えをお示ししました。
- ・各意見は、いただいた意見の主旨を損なわない範囲で集約及び要約しています。

## 1 条例（37件）

### （1）条例の継承

- ・ 条例を継承することに賛成する。
- ・ 心を打つものがあるので継承し、広めて行ってほしい。
- ・ 親しみやすく、子ども達にも定着しているキャッチフレーズなので、このまま継続した方がよい。
- ・ 広い豊田市には都市部と山村部両方の魅力があり、自然豊かで住みやすい。多様な人が参加し、次の世代へ豊田のよさを伝える取組が今後も続くことに期待。
- ・ 「WE LOVE とよた」の理念にゴールはなく、完結するものでもないため、継続的な推進が必要だと思う。
- ・ 少子高齢化や過疎が進むと小さな自治区から消滅し、豊田市の運営は厳しくなると思う。「豊田市が好き」というファンが減れば過疎はさらに進むため、今後も「WE LOVE とよた」の取組は必要だと思う。
- ・ 詳細を見ると今まで知らずに参加していたものもあり、とてもたくさん継承されていることを知ると同時に、これからも広く伝わって行ってほしいと感じた。
- ・ イベントや芸能人によるアピールなど、豊田市を盛り上げる意味があることなので継承してほしい。
- ・ あまり高い予算をかけなければ継承してもよいと思う。

### （2）条例全般

- ・ 条例制定後は、各々が「WE LOVE とよた」を楽しみながら広げる実践が積み重なった10年だったと思う。
- ・ とよた元気プロジェクトから始まった「WE LOVE とよた」の取組は、当時は商業的な意味合いが強く「何かとよたの物を買わなきゃ」という意識だったが、条例の制定後は郷土愛の意味を感じるようになった。
- ・ 市が推していると感じがあり、広がればよいなと思える。
- ・ 「WE LOVE とよた」の取組は、市民が自分たちのまちをもっと好きになるきっかけになっている。
- ・ 「WE LOVE とよた」条例は、今読んでも過不足ない。時代にあわせた変化の必要性や否定されるポイントはないと思う。また、市民への広がりには強制感はなく、「WE LOVE とよた」を合言葉に自由に自主的に自然な広がりを見せている。条例の伝えたい部分が体现できつつあると思う。
- ・ シティプロモーションの先駆け。何よりも早かったのがよかった。他の自治体もマネしてやり始めたが、先ずれば人を制す。
- ・ 抽象的でわかりにくいという声もあるが、「WE LOVE とよた」という言葉のみで雰囲気は理解できる。逆に具体化すると範囲を狭める恐れがあるため、自由に解釈してもらう今のスタイルでよいと思う。
- ・ 各々で取組の目標や目的を持つことこそが新しい時代の価値観や風土、文化であり、本当の意味で優しく多様な社会だと思う。文化が根付くには時間がかかるが、

短期的な評価に翻弄されず、今後もこの理念を大切に市民が育んでいけるよう行政としてもバックアップを継続してほしい。

- ・ 条例と聞くと押し付けがましい気がする。
- ・ 県外出身者にはあまり馴染まない。
- ・ 一部の人が盛り上がっているだけで、ほとんどの市民は恩恵を受けていないと思う。

#### ⇒ 「1 条例」に対する市の考え

- ・ 今回の「WE LOVE とよた」の振り返りの中で、「WE LOVE とよた」の認知度は相当に高い水準にあること、市民団体等による自発的な取組が様々にあること、多くの前向きなご意見があることを確認できました。
- ・ 「WE LOVE とよた」を条例としていることには、①制定過程で多くの市民の皆様との合意形成を図ってきたこと、②議決を得た条例であることが取組の拠り所となっていること、などの意義があると考えています。
- ・ こうしたことから、今後も条例を継承し、「地域の魅力を次の世代につなげるまちづくり」を引き続き進めていくこととしました。

## 2 言葉・ロゴマーク（22件）

### (1) 言葉

- ・わかりやすいネーミングだし、とよた産・とよたに関わりがあるものという判別が付きやすくてよいと思う。
- ・主語が「I」ではなく「WE」であることで一体感を感じる。
- ・他地域でも同じようなフレーズを見ることもあるが、短く覚えやすいので親しみを持っている。
- ・こどもは読めないかも。

### (2) ロゴマーク

- ・ロゴマークのデザインがかわいい。
- ・ロゴマークが印象的で、「WE LOVE とよた！」と聞くと元気な感じでよい。
- ・誰にでもパツとわかりやすく、馴染みやすくてよい。
- ・文字だと紛れてしまうが、赤いロゴマークだと目立って印象に残りやすい。
- ・ロゴマークもすっかり見慣れ、市民が自然と親しみを持てるデザインで好き。
- ・「WE LOVE とよた」は好きなロゴで愛着がある。
- ・「WE LOVE とよた」と似た企業ロゴもあるため、そろそろイメチェンもありかと思う。
- ・もう少しスタイリッシュなロゴにした方がよくアピールできると思う。

### (3) 言葉等の広がり・波及

- ・「WE LOVE とよた」という名称はキャッチーで使いやすく、条例制定による取組の後押しで市民の間にも広がりを感じる。ロゴを「WE LOVE ○○」と地域名に置き換えて使える点も親しみやすくてよい。
- ・市民が「WE LOVE ○○」のロゴを使って自分や仲間との好きを自由に表現するようになった。それらを生活の中で見かけるとほっとし、誇らしさも感じる。
- ・豊田おいでんまつりに携っており、「WE LOVE おいでん」の缶バッジをつくって配布した。来場者が嬉しそうにもらってくれたり、身に着けて踊ってくれたりする姿を見て、自分の好きをみんなと共有できた気持ちになった。
- ・2025年の「おいでん総踊り」では、「WE LOVE とよた賞」や「WE LOVE おいでん！」の掛け声が多くの中で聞かれ、合言葉としての浸透を嬉しく思った。これからも市民にもっといろんな「WE LOVE とよた」が広がってほしい。
- ・「WE LOVE とよたフェスタ」の事務局として携わる中でロゴマークの使用について質問されることも多く、広がりを感じるとともにとても誇りに思った。
- ・「WE LOVE とよた」は、様々な地域や団体、個人の活動までを支えるバックボーン役を果たしていると思う。具体的に限定せず自由に解釈して活用できることで、市民にも使いやすく、活用の幅が広がっているのではないかと。

- ・県外出身者の自分が豊田市で子育てし、地域に根を張っていこうとする際に、「WE LOVE とよた」をあちこちで目にするすることで、市民が地域への愛着を醸成しようとする機運を感じ、とても好ましく思った。

## ⇒「2 言葉・ロゴマーク」に対する市の考え

- ・アンケート調査での市民認知度は8割を超えており、また、こども（小学校5年生～高校1年生）へのヒアリングでは9割以上の認知度となっているほか、多くの方がポジティブな印象をもっていると認識しています。
- ・また、地域名などを「WE LOVE ○○」として掲げて一体感を高める取組や、店舗等で地元の特産品に「WE LOVE とよた」のシールを貼るなど、民間主体の活用も広がっており、今後もこうした取組の輪が広がるよう後押しをしていきます。
- ・なお、「WE LOVE とよた」のロゴマークの取り扱いについては、市と豊田商工会議所が協調しながら進めてきており、今後も適切な連携の下で取り組んでいく考えです。

### 3 認知・PR（32件）

#### （1）意味の認知・理解

- ・言葉の意味についてもっと周知し、市民の認知を高めていくべき。
- ・ロゴや言葉について「これはね・・・」「こんな市だよ」と、子どもたちも言えるくらいになると、目指しているまちづくりにより近づくと思う。
- ・条例を初めて知った。「WE LOVE とよた」のマークを目にする機会は多いが、何を意味しているかはあまり周知されていないと思う。条例の継承にあたり、さらなる広報が必要だと思う。
- ・「WE LOVE とよた」のロゴは以前から知っており、触れる機会も多い。認知度は高いが、馴染みがない人もまだまだいると感じられ、「WE LOVE とよた」の広がりには道半ばとの印象。
- ・理念だけでなく行動につなげる設計にする必要がある。豊田市の押しつけではなく、市民と協働できる仕掛けづくりが重要。
- ・豊田市ゆかりのスポーツ選手や観光地に使われているイメージで、地産地消などで使われているイメージはあまりなかった。よい取組だと思うが、意味合いも含めた認知度向上が大切だと思う。
- ・「WE LOVE とよた」の言葉やロゴを知っていて、催し物のポスターなどにあると目に留まるが、条例は知らなかった。条例を知らない方に広く伝えていくことも必要だと思う。
- ・取組の大小に関わらず、特に市民活動への広がりには「WE LOVE とよたフェスタ」への出展・来場で広がっていると感じる。
- ・条例は知らなかったが、ロゴマークは知っている。関連イベントにも参加していたことに気付いた。
- ・トラック等でステッカーを見たことがあったが、詳しくは知らなかった。
- ・「WE LOVE とよた」は特別なメッセージでなく、豊田市のロゴマークだと思っていた。

#### （2）広報・PR手法

- ・時々広報とよたに掲載したり、折込情報として配布したりすれば、マークの認知が高まり愛着も増加するのではないかと。
- ・「WE LOVE とよた」のロゴマークを自由に使用できることを周知し、使用を推進していく。
- ・ポスターなどは目につくので、どんどんイベントなどで掲出してほしい。
- ・もっと広告を出すべき。
- ・市民にTシャツを配るなど、もっと知名度を上げる施策を打ったほうがよい。
- ・「WE LOVE とよたサポーター」によるPRはとてもよいと思う。
- ・サポーターの活動状況がわからない。任命に留まらず、もっと活動が広がるとよい。

- ・「WE LOVE とよたサポーター」の選定について、行政で候補者をあげて市民投票制にしてはどうか。また、各地区でサポーターを選抜し、全市の選抜隊を構成してはどうか。定期的に市民投票による更新の流れができるとうい。
- ・認知度については、表面的な数値ではなく、具体的な認識内容をよく確認することが必要。
- ・市民の認知拡大が行動変化にどの程度結びついているかを定量的に示せると、効果がより明確になる。地産地消の経済指標や地域への愛着度の見える化は、今後の方向性やゴール検討に有効だと思う。
- ・今後は外国人の巻き込みや認知度アップも視野に入れ、外国語パンフレット等により外国籍の方も「WE LOVE とよた」を知る機会が増えるとうい。
- ・豊田市民でも、市内で開催するイベント等に参加しなければ、なかなか認知度は上がらないと感じる。具体的な行事を広く市民にPRすべき。

### ⇒「3 認知・PR」に対する市の考え

- ・条例制定から現在にかけては、まずは「WE LOVE とよた」というキャッチフレーズを広く知ってもらうことを目指し、様々な取組を展開してきました。その結果、言葉そのものは高い認知度となっている一方、「WE LOVE とよた」の理念や期待している具体的な取組などの認知度は今後のテーマと捉えています。
- ・そうした考えと同時に、「WE LOVE とよた」は市による啓発のみでなく、個々が幅広く自由に解釈し、伸び伸びと自発的に取り組む「WE LOVE とよた」も含めて、地域に広がっていくことが望ましいと考えています。
- ・こうした「WE LOVE とよた」の捉え方の多様性、豊田市に関わる人々の多様性にも配慮し、「自由に楽しむ」という理念を大切にしながら啓発に取り組んでいきたいと考えています。

## 4 今後の取組（33件）

### （1）市民等の巻き込み

- ・スポーツ、芸術、伝統芸能などと幅広くコラボする企画などがあると、豊田市をより楽しんでもらえると思う。
- ・スーパーや一般企業とコラボすることで、市民がより親しみやすくなるを感じる。
- ・企業やお店、市民活動団体等が主体の「WE LOVE とよた」の活動への市の斡旋や補助は、お客さんや従業員を巻き込んだ周知や理解につながると感じる。
- ・「WE LOVE とよた」の対象には企業等も含まれるため、もっと企業にも活用してもらえとなおよいと思う。
- ・市民が気軽に取り組める活動をいくつか提示し、参加を促す取組を進めてほしい。参加しやすい環境を整えることで、地域全体の活性化につながると期待。
- ・自分の好きな分野や得意分野を通じて豊田の魅力を気軽に表現できる「WE LOVE とよた」案内人・ガイドのような人を創出する機会があるとよい。
- ・市民・行政・企業が互いに思いを重ね、一体感を持って豊田をよりよいまちにしていけるよう、対話の場を創出してほしい。
- ・市役所などの公的機関が先頭に立つのではなく、費用対効果を見極めた民間に任せられた方がよい。現状の物価高を考えると、減税できた方が市民は喜ぶのではないか。

### （2）地産地消・消費喚起

- ・帰省土産を買うことが多いが、特産品などに貼ってあるシールで豊田産だと知ってもらえる。地産地消にも貢献していると思うので、どんどん広がっていくとよい。
- ・豊田市産の農産物にステッカーを貼るのはとてもよいと思う。
- ・「WE LOVE とよた」を掲示している場所で、もう少し市民に特典があるとよい。
- ・食べ物などおいしいものをもっとアピールできればよいと思う。

### （3）キャンペーン

- ・以前あった「WE LOVE とよた」「WE LOVE ○○」のInstagramキャンペーンについて、人物や笑顔が写っている写真などを活用し、何らかの機会に改めて実施してはどうか。
- ・「WE LOVE とよた」は、あまりにも普通の言葉になってきた。「私は 豊田市が好きです WE LOVE とよた！」など前後に別の呼びかけを追加して、みんなで声をそろえて合唱してはどうか。
- ・Pay Pay キャンペーンはとてもありがたかった。またあると嬉しい。

### （4）個別分野の取組

- ・ご当地ナンバープレートにももう少しさり気なさがあるバージョンがほしい。
- ・新たな分野での展開を期待（障がい者、高齢者とその家族が住みやすいなど）

- ・多少脱線してもいいので一層とがった「ひと、もの、こと」が生まれることで、豊田市が皆で楽しめるまちとなっていくと思う。
- ・大きなイベントでは表現できる人が限られるので、小さな取組から少しずつ広げていけるとよいと思う。
- ・交通機関で豊田市に来訪した際に最初に降り立つ豊田市駅の活性化を希望。また、セントレア発バスに豊田市らしいデザインを施すことで、観光客の印象が強まる。ロゴが素敵なので、豊田市駅がロゴで一面満開になる日を期待。
- ・「おいでん・さんそんセンター」は、条例を体現した象徴的な取組の一つだと思う。一層の活躍を期待したい。
- ・市議会議員と市民の交流会などを各公民館で定期的に行い、困り事を聞く機会があるとよい。地域や自分の声が届けば、市政への関心が高まり、「WE LOVE とよた」への共感も深まると思う。
- ・豊田への愛着を高めるには、市民サービスを充実するべき。特に高齢者バスの優遇を名古屋市のようなわかりやすい制度にすれば、自由な移動が可能となり、豊田の魅力を発見する機会も増えると思う。
- ・豊田を愛するには豊田の歴史を知ることが必須だと思うが、図書館にも博物館にも豊田の歴史が見られる映像が少ないのが残念。また、これまで市が大事にしてきた貴重な資料がそのまま捨てられていくのは残念。
- ・子育てしやすい市になるとよい。保育士や教員、子どもたちに関わる仕事をしている方が、働きやすく、自信を持って進められる市になることが、子育てを支えていくと思う。
- ・若者に豊田市をもっと応援してもらうため、小・中学校での取組をどんどん実施していくとよりよいまちになると思う。
- ・豊田市は今年も暑く、全国1位の日もあった。そこで、夏に咲く豊田市の花のひまわり畑を見られるところがあったらよいと思う。
- ・地方のイベントに参加して豊田市をアピールしてほしい。
- ・産業フェスタなどのイベントはとてもよいと思うが、暑い時期は熱中症が心配。

#### ⇒「4 今後の取組」に対する市の考え

- ・これまで、市は地産地食の推進、ご当地ナンバープレート、サポーターの任命など、様々な「WE LOVE とよた」の取組を進めるとともに、地域の魅力向上に取り組む市民団体等への支援、ロゴマークの利用促進などに取り組んできました。
- ・寄せられたご意見を参考とし、今後も様々な市の施策に「WE LOVE とよた」の観点を加えて、「とよたの魅力」を高め、発信していくことを目指します。同時に、市民の皆様の自由で自発的な行動の輪の広がりを促進していきます。
- ・「WE LOVE とよた」はあなたの暮らしをもっと楽しくする合言葉。このような理念の輪が広がっていくよう、市民の皆様とともに取り組んでいきます。

【参考】 E モニターアンケートでの関連設問の回答結果（カッコ内は回答割合）

1 「WE LOVE とよた」の言葉やロゴを知っていますか（n=197）

両方とも知っている	159	(80.7%)
言葉のみ知っている	24	(12.2%)
ロゴのみ知っている	11	( 5.6%)
両方とも知らない	3	( 1.5%)

2 言葉やロゴを知ってから、自身の意識に変化はありましたか（n=190）

変化があった	19	(10.0%)
どちらかと言えば変化があった	63	(33.2%)
どちらかと言えば変化はなかった	37	(19.5%)
変化はなかった	69	(36.3%)
分からない	2	( 1.1%)

3 「WE LOVE とよた」の言葉は広がったと思いますか（n=191）

広がったと思う	48	(25.1%)
どちらかと言えば広がったと思う	95	(49.7%)
どちらかと言えば広がっていないと思う	11	( 5.8%)
広がっていないと思う	19	( 9.9%)
分からない	18	( 9.4%)

4 豊田市や自分の住む地域に愛着や魅力を感じていますか（n=197）

感じている	76	(38.6%)
やや感じている	86	(43.7%)
あまり感じていない	31	(15.7%)
感じていない	4	( 2.0%)